

第 1 日：2025 年 11 月 23 日（日）

時間/会場	2 階・中会議場 1	2 階・中会議場 2	2 階・中会議場 3	2 階・中会議場 4	1 階・特別会議室 101-103
9:30～	(受付開始)				
10:00～10:20	【開会挨拶】 菊池浩明 情報ネットワーク法学会理事長 【開催校挨拶】 生貝直人 研究大会実行委員長				
10:20～10:35	(休憩)				
10:35～12:05 分科会第 1 部	【第 1 分科会】 公的部門における個人情報の取扱いに関する諸相 (個人情報保護法研究会)				
12:05～13:30	(昼食休憩)				
13:30～15:00 分科会第 2 部	【第 2 分科会】 DPF 事業者の「適正システム構築義務」に関する損害賠償事案について（仮） (ネット社会法務研究会)				【第 3 分科会】 情報流通プラットフォームの諸問題 (情報流通プラットフォーム対処法研究会)
15:00～15:15	(休憩)				
15:15～16:45 分科会第 3 部	【第 4 分科会】 精神医療・発達支援領域におけるロボット・AI 活用の法的・倫理的課題 (ロボット法研究会)		【第 5 分科会】 人間中心の著作権法 (ビジネス法務研究会)		【第 6 分科会】 サイバーセキュリティ対策における脆弱性情報 (サイバーセキュリティ法研究会)
16:45～18:00	(休憩) 学術総合センター3 階・旧食堂、1 階特別会議室、2 階会議室 202・203 を利用可能				

※1 書籍展示：中会議場ロビー

※2 実行委員・分科会登壇者控室：会議室 201、貴賓室

18:00～20:00 懇親会 会場：中会議場 1-4

第 2 日：2025 年 11 月 24 日（月祝）

時間/会場	一橋講堂
09:30～	(受付開始)
10:00～10:30	情報ネットワーク法学会総会
10:30～10:40	(休憩)
10:40～11:40	【基調講演】 松本恒雄 一橋大学名誉教授 「デジタル社会における取引に日本の消費者法は対応できているか（仮）」
11:40～13:00	(昼食休憩)

時間 /会場	2 階・中会議場 1	2 階・中会議場 2	2 階・中会議場 3	2 階・中会議場 4	2 階・会議室 202・203	1 階・特別会議室 101-103
	【個別報告 1】 プライバシー・個人情報・通信の秘密 司会：横田理事	【個別報告 2】 非個人情報・データベース／社会基盤 司会：小西理事	【個別報告 3】 AI・ロボットと法的規制 司会：酒井理事	【個別報告 4】 青少年・労働者・消費者保護 司会：丸橋副理事長	【個別報告 5】 人格権、自動運転、アバター 司会：長島・橘理事	【個別報告 6】 プラットフォーム・表現の自由・ブロッキング 司会：成原理事
13:00～13:25	●報告 1-1 GDPR における認証制度の意義 (高橋優季)	●報告 2-1 関係志向と法情報—(日本) 弁護士会による 対外発信の実証研究 (郭薇)	●報告 3-1 海外のブレインテック・BMI 動向と日本への示唆 (小松詩織、松尾剛行)	●報告 4-1 「データ化された労働」の視点から見たデータ・ガバナンスの問題点——中国におけるデータ・ラベリングを事例として—— (鄭コイン)	●報告 5-1 AI 支援下での意思決定者のための「良きサマリア人の法」 (猪谷誠一)	●報告 6-1 差別感情の発信を法は規制すべきか (星野豊)
13:25～13:30	(休憩)					
13:30～13:55	●報告 1-2 個人データ保護における個人の識別とは何か—類型と本質	●報告 2-2 欧州の個人データ保護法制における市民社会アクターの影響力と日	●報告 3-2 EU の PL 指令改正と日本の AI 製品について (松尾剛行、伊藤駿)	●報告 4-2 米国および EU におけるネット上の青少年保護 (SNS 規制を中心に)	●報告 5-2 アバターの医療分野での活用と民事法への影響	●報告 6-2 オンラインカジノのブロッキング規制の法的議論と各国動向

情報ネットワーク法学会 研究大会プログラム (2025 年 10 月 31 日版)

	(那須翔)	本への示唆 (若江雅子)	介)	(上沼紫野)	(長島光一)	(有本真由)
13:55 ~ 14:00	(休憩)					
14:00 ~ 14:25	●報告 1-3 プライバシーの合理的期待と個人情報保護法における不適正利用の禁止 (神保宏充)	●報告 2-3 裁判手続における AI ハルシネーション (幻覚) の取り扱いと諸問題に関する比較法的検討 (Ruben E. Rodriguez Samudio)	●報告 3-3 SNS 依存の議論を踏まえた AI 依存問題に対する検討 (西垣裕太、松尾剛行)	●報告 4-3 AI・デジタル技術の発展と労働者のプライバシー保護—使用者による情報収集・利用の法的限界 (三浦優歩)	●報告 5-3 デジタル復活と生前意思 (利根川愛蓮)	●報告 6-3 オンラインカジノにおける情報削除の法的整理—媒介者責任を中心に (加藤久美子)
14:25 ~ 14:30	(休憩)					
14:30 ~ 14:55	●報告 1-4 政府・企業・利用者の三者関係に基づくプライバシー保護 (佃貴弘)	●報告 2-4 情報の流通と保護の緊張関係: 公益通報・内部告発での情報の流通を素材として (遠藤洋一)	●報告 3-4 AI 事業者規制における中国法の現状と課題 (譚天陽)	●報告 4-4 MCN による YouTuber /VTuber 搾取問題と競争法規制 (王威駟)	●報告 5-4 故人再現 AI をめぐる法的・社会的課題の再検討 (荒岡草馬、原口和徳、藤村明子)	●報告 6-4 通信の秘密に関する実務上の諸論点 (蔦大輔)
14:55 ~ 15:00	(休憩)					
15:00 ~ 15:25	●報告 1-5 統計作成等とプライバシー: AI 時代におけるデータ利活用と個人の権利利益保護の再考 (松田遼)	●報告 2-5 実装された行政保有情報開放制度の比較考察—DGA 2 章・APPI 5 章 5 節 (行政機関等匿名加工情報)— (平松優太)	●報告 3-5 サイバーセキュリティと AI 規制の比較法的検討—日米中における統治構造・法制度の相違と法執行状況 (寺田麻佑、湯浅壘道、松尾剛行)	●報告 4-5 SNS 型詐欺の消費者被害該当性を巡る問題 (板倉陽一郎)	●報告 5-5 人間と AI の間のトラストを巡る議論 (中川裕志)	●報告 6-5 インターネットにおける公共の福祉 (齋藤理央)
15:25 ~ 15:30	(休憩)					
15:30 ~ 15:55	●報告 1-6 LMS における学習ログ活用の制度的再設計—教育目的と研究目的の両立をめぐって—	●報告 2-6 EU データ法の下での非個人データの利用に関する権利の規律と日本法への示唆	●報告 3-6 日本における AI 活用推進法と「AI の悪」への対応—理念的アプローチの限界と課題			●報告 6-6 医療情報システムをめぐるサイバーセキュリティ規律の変遷と今後 (緒方健)

情報ネットワーク法学会 研究大会プログラム（2025 年 10 月 31 日版）

	(加藤匠)	(石川智也)	(寺田麻佑)			
15:55～ 16:10	(休憩)					

時間/会場	2 階・中会議場 1	2 階・中会議場 2	2 階・中会議場 3	2 階・中会議場 4	1 階・特別会議室 101-103
16:10～17:40 分科会第 4 部	【第 7 分科会】 アバターを介して働く社会 (ビジネス法務研究会)	【第 8 分科会】 システム開発と生成 AI (仮) (ビジネス法務研究会)	【第 9 分科会】 私人間におけるプライバシー侵害問題に関する多角的検討 (プライバシー法理論研究会)		【第 10 分科会】 インターネット投票分科会 (仮) (インターネット投票分科会)

※1 書籍展示：中会議場ロビー

※2 実行委員・分科会登壇者控室：会議室 201、貴賓室